BL　ボディー・ロック・セキュリティー

作業上の注意 2
・SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルト付き車に関する注意 2
・作業上の注意 2
準備品 3
・油脂類 3
フード 4
・建付調整 4
・フード ASSY の取り外し、取り付け 5
・フードロックコントロールの取り外し、取り付け 6
・フードロックコントロールの点検 7
ドア 8
・建付調整 8
・取り外し、取り付け 9
・ドアウエザーストリップ 10
集中ドアロックシステム 11
・作動概要 11
・構成部品取付位置 11
・回路図 11
・コンビネーションメーター（メーターコントロールユニット）入出力信号基準値 11
・現象別故障診断早見表 12
・パワーウインドーメインスイッチ経路点検 12
・ドアロックリレー経路点検 13
・ドアロックアクチュエーター経路点検 14
・運転席ドアロックアクチュエータースイッチ経路点検 15
フロントドアロック 16
・構成図 16
・点検、調整 16
・取り外し、取り付け 16
・分解、組み立て 18
リヤドアロック 19
・構成図 19
・点検、調整 19
・取り外し、取り付け 19
・分解、組み立て 21
リモートコントロールエントリーシステム 22
・システム概要 22
・構成部品取付位置 22
・回路図 22
・リモコンエントリーコントロールユニット入出力信号基準値 23
・診断前点検 23
・現象別故障診断早見表 24
・ドアスイッチ経路点検 25
・キー差し込み検出スイッチ経路点検 25
・運転席ドアロックアクチュエーター経路点検 26
・ターンシグナルランプ経路点検 27
・リモコン暗証番号の登録 28
・キー一体型リモコン分解、組み立て 29
バックドア 30
・建付調整 30
・バックドア ASSY 31
・　バックドアハンドルの取り外し、取り付け 32
・バックドアロック & アクチュエーターの取り外し、取り付け 32
・バックドアウエザーストリップの取り外し、取り付け 32
フューエルフィラーリッドオープナー 34
・構成部品取付位置 34

作業上の注意

PFP:00001

SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルト付き車に関する注意

JIS006QL

警告：
- SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトシステム関連の構成部品脱着及びハーネス脱着は、キースイッチ OFF で、バッテリーマイナス端子を外してから 3 分以上放置後行うこと。（エアバッグセンサーユニット内の補助電源回路に蓄えられた電気を放電させるため。）
- 構成部品の脱着に、エアツール及び電動ツール等は使用しないこと。
- SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトシステム用のハーネスは、ハンダ等による修理はしないこと。また、ハーネスの噛み込み及び他部品との干渉に十分注意すること。
- SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルト回路及び単品状態での点検をするときはサーキットテスター等の電気テスターを使用しないこと。（テスターの微電流による作動防止）
- エアバッグモジュール及びプリテンショナーシートベルトのコネクターに、ドライバー等の異物の差し込みはしないこと。（静電気による作動防止）
- SRS エアバッグ及びプリテンショナーシートベルトには、識別として黄色のハーネスコネクターを使用し、他のハーネスとの区別をしている。
- 安全に整備作業を行うため、「SB シートベルト」及び「SRS SRS エアバッグ」を参照すること。

作業上の注意

JIS00175

- 開閉部品脱着後は、必ず建付調整を行い、操作性を確認する。
- 各部位の給油状態及び損傷、摩耗状態を点検し、不足している場合は給油又は交換する。

準備品

PFP:00002

油脂類

JIS00176

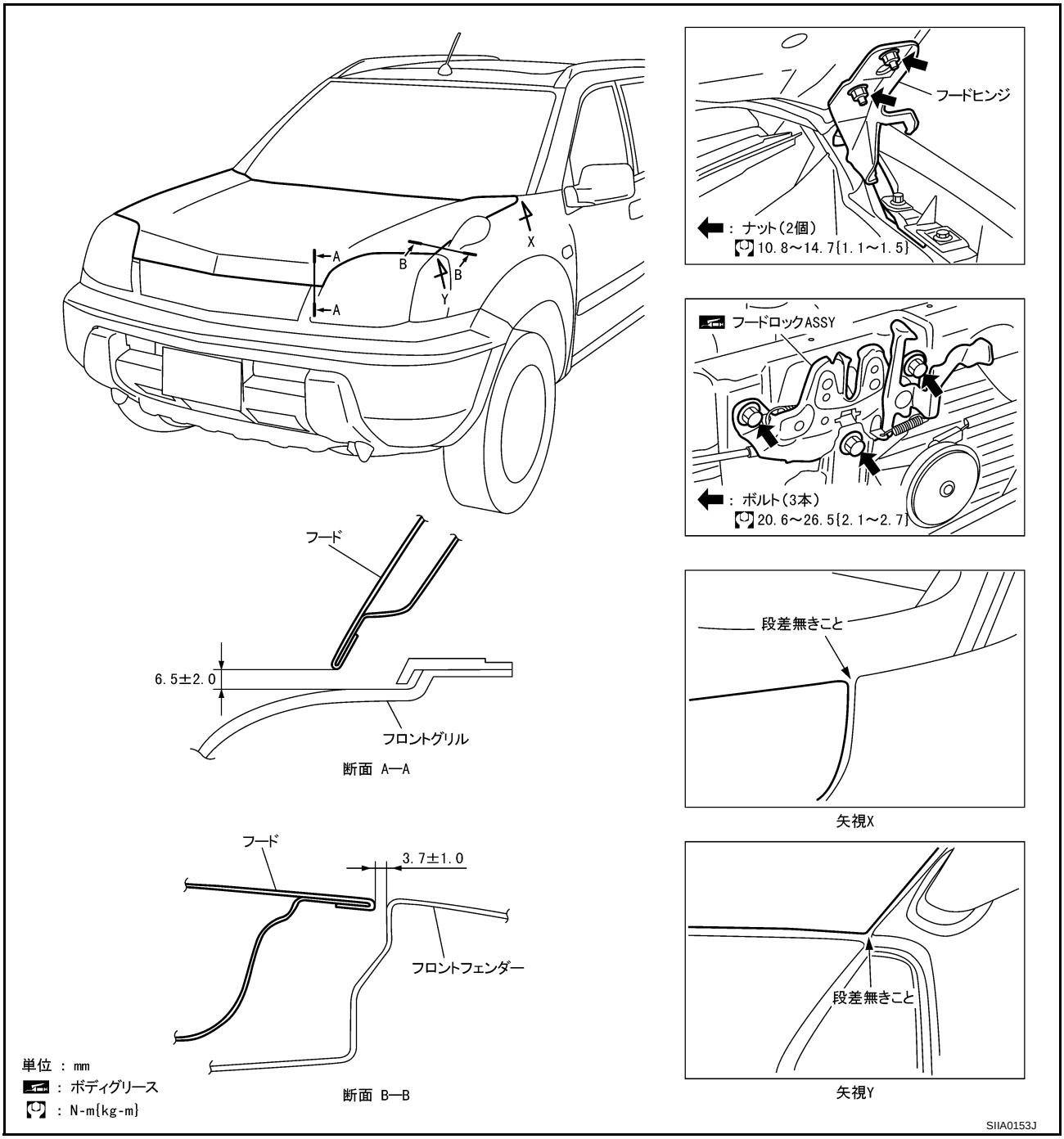
名称	用途	備考
防せいワックス M-97 スーパー（180ml スプレー式） KA390 18090	• フードヒンジ、ドアヒンジ車体パネル合わせ部塗布	各日産部品販売会社
ボディグリース（300ml スプレー式） KRH05 00030	• チェックリンクしゅう動部塗布 • 各ヒンジ回転及びしゅう動部塗布 • ドアロックラッチ、フードロックラッチ及びレバーしゅう動部塗布	
ブチルテープ KA430 89992	• シーリングスクリーン接着 • ドアウエザーストリップシール	

フード

PFP:65100

建付調整

JIS00177



前端部高さ調整、左右前後すき間調整

1. **フードロックを外し、フードがフェンダーに対して** 1 ～ 1.5mm **低くなるようにバンパーラバーを回し、高さを調整する。**
2. **フードロックを仮止めし、ストライカーと噛み合わせて位置決めを行ない、ロックとストライカーのガタが無いことを確認後、ロック取付ボルトを規定トルクで締め付ける。**

面差調整

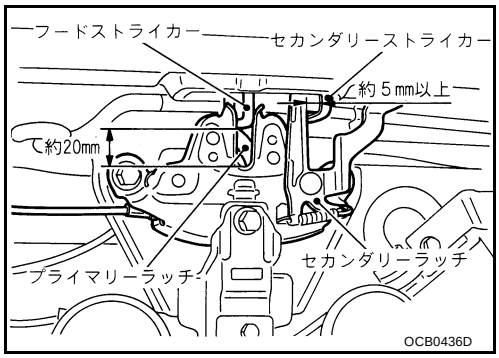
1. **フードロックを外し、フードとフェンダーとの面差が建付基準寸法となるようバンパーラバー左右で調整する。**
2. **フードロックを取り付け、ストライカーとロックの中心が前方より見て、垂直線上になるようフードロックを左右に動かして調整する。**

3. **フードの自重（約 200mm の高さより自然落下させる）もしくはフードを軽く（3kg 程度）押してセカンダリーラッチがセカンダリーストライカーと確実に噛み合うか確認する。**

   注意： 300mm **以上の高さより閉めないこと。**

4. **フードを閉じて、ストライカーとロックが確実に噛み合うように上下にフードロックを動かして調整する。**

5. **調整後、ロック取付ボルトを規定トルクで締め付ける。**



フード ASSY の取り外し、取り付け

JIS00178

SEC. 650

ラジコアシールラバー
フードASSY
フードインシュレーター（取付クリップ10個）
ウオッシャーホース継ぎ目
フードヒンジ
フードステー

フードヒンジ
：ナット（2個）
10.8～14.7{1.1～1.5}

フードロックASSY
：ボルト（3本）
20.6～26.5{2.1～2.7}

：ボディグリース
：N-m{kg-m}

SIIA0154J

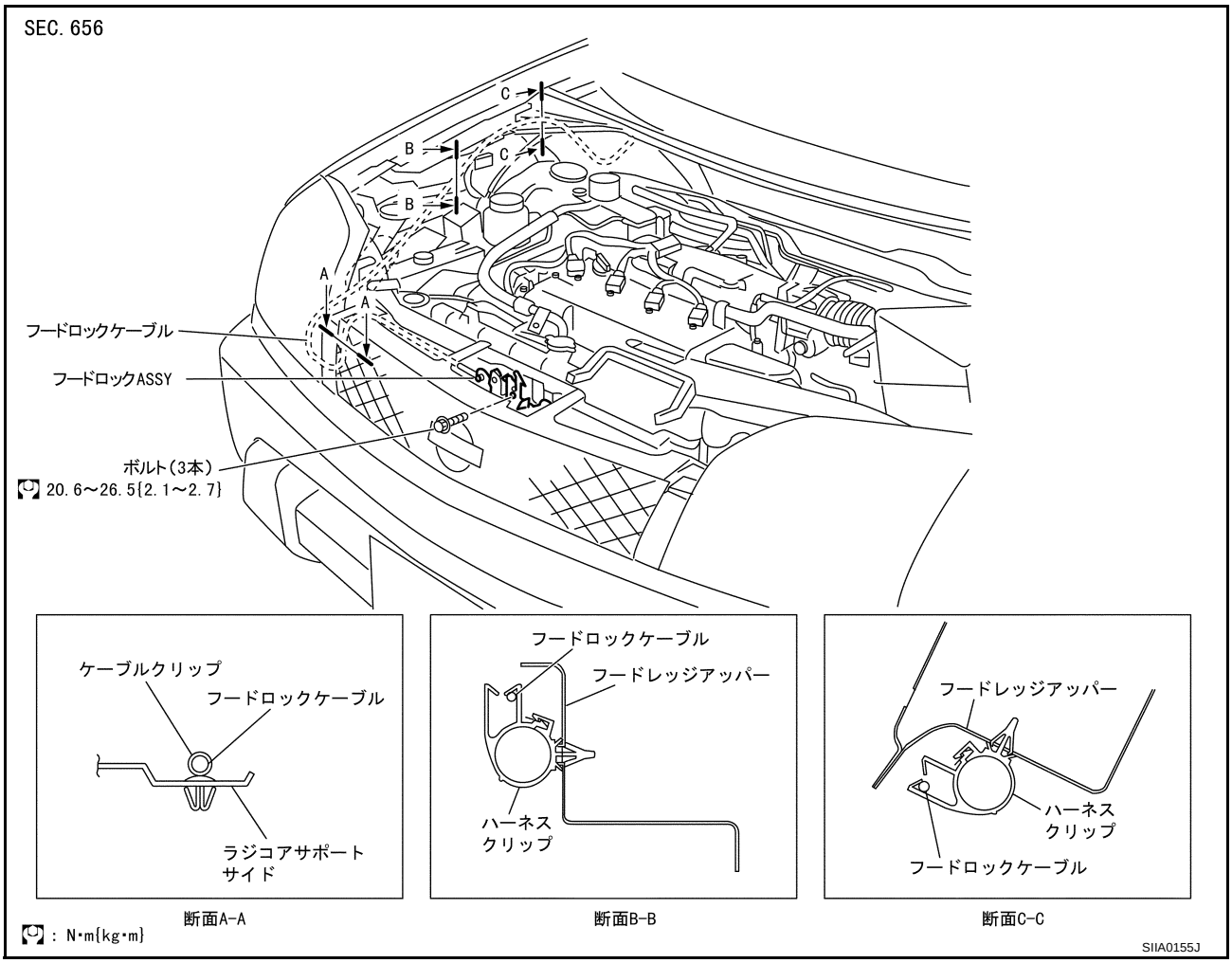
1. **ウオッシャーホースを継ぎ目部で分離する。**

2. **フード側ヒンジ取付ナットを外しフード ASSY を取り外す。**

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

フードロックコントロールの取り外し、取り付け

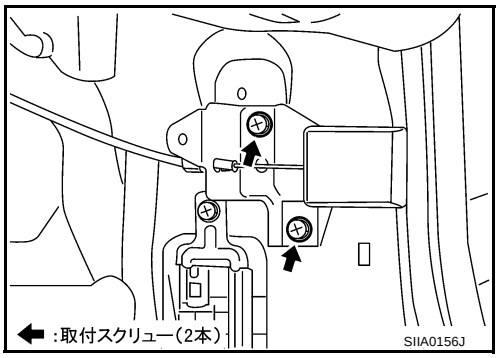
JIS00179



取り外し

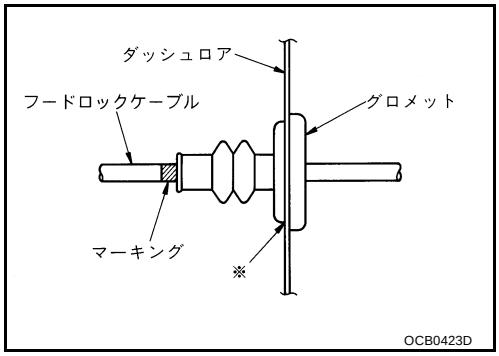
1. フードロックからフードロックケーブルを外し、ラジコアサポートアッパー部及びフードレッジ部のクリップよりフードロックケーブルを外す。
2. ダッシュサイドフィニッシャーを取り外す。「EI　外装・内装」の「ボディーサイドトリム」(EI-27 ページ)」を参照。
3. 取付スクリューを外し、フードオープナーを取り外す。
4. ダッシュ部のグロメットを外し、フードロックケーブルを室内側に抜く。

   注意：引き抜くとき、車体穴でフードロックケーブルアウターに傷（皮ムケ）などを付けないよう注意して行うこと。

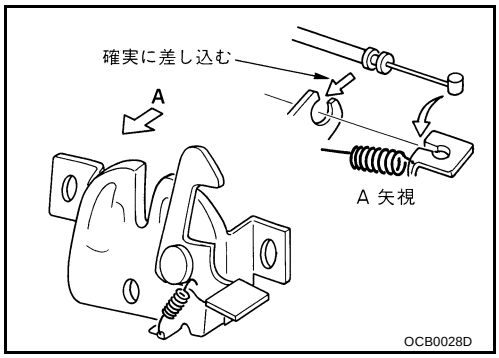


取り付け

1. フードロックケーブルは極力曲げ R（R100mm 以上）を大きくして引き込む。
2. 位置決めグロメットからずれていないか確認した後、グロメットをパネル穴に確実にはめ込む。
3. グロメット※印部にシーリング剤を確実に塗布する。



4. ケーブルをロックに確実に取り付ける。
5. 取り付け後、フードロック調整及びフードオープナーの操作性を確認する。

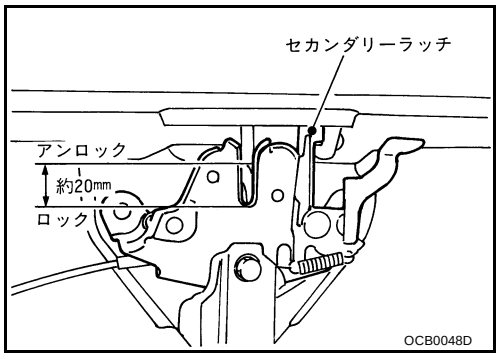


フードロックコントロールの点検

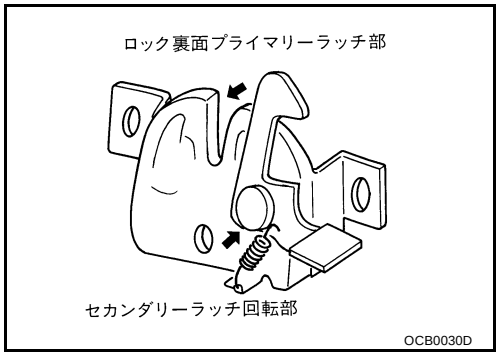
JIS0017A

注意： フードロックケーブルに折れ、変形があるときは交換する。

1. フード自重（約 200mm の高さより自然落下させる）のみでフードロックセカンダリーラッチが、セカンダリーストライカーと確実に噛み合うか確認する。
2. フードオープナーを静かに操作したとき、フード前端が約 20mm 程度、上がるか確認すること。また、フードオープナーが元の位置まで戻るか確認する。



3. フードロックの給油状態を点検し、不足しているときは図の箇所に「ボディグリース」を塗布する。

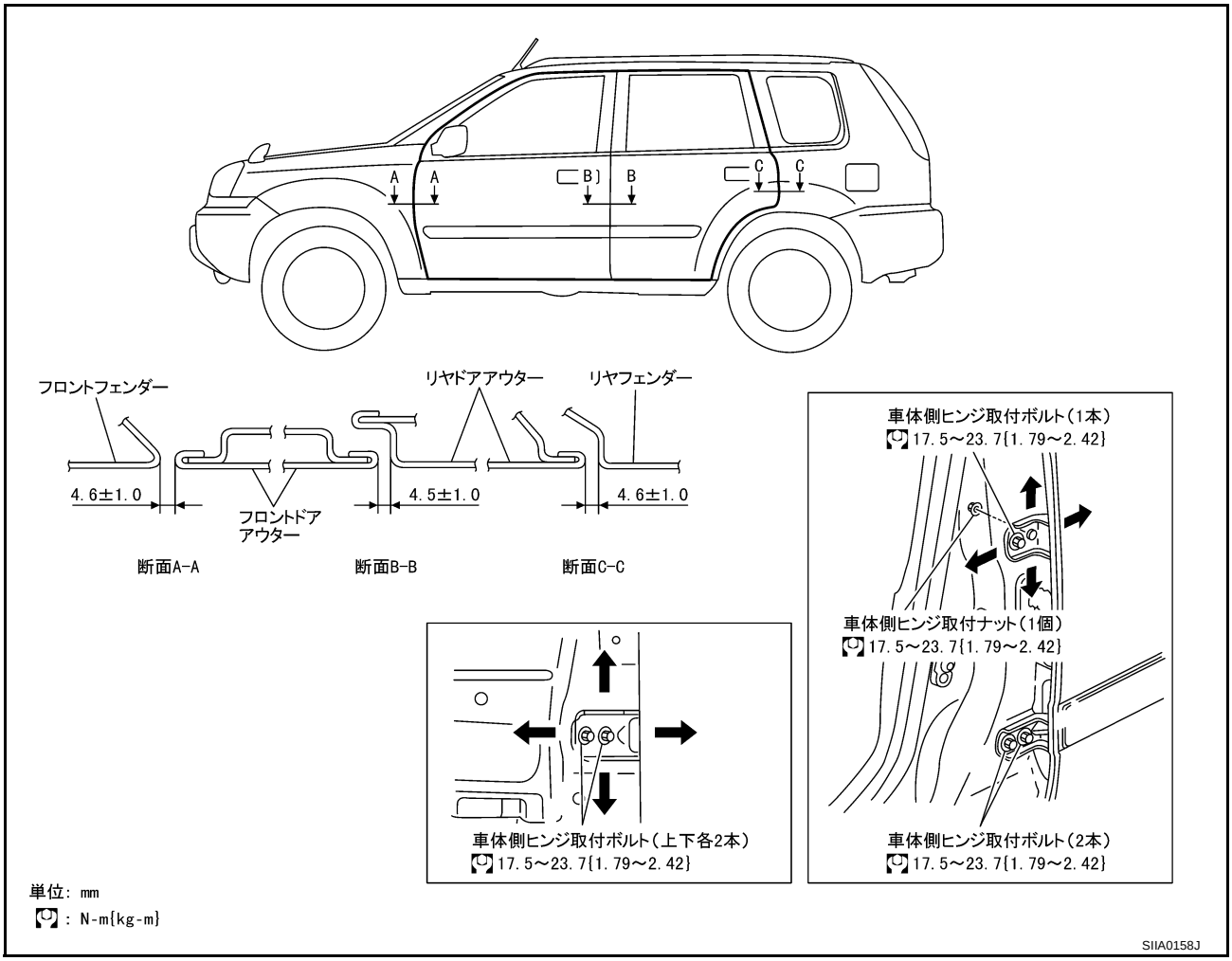


ドア

PFP:80100

建付調整

JIS0017B



フロントドア

前後方向すき間及び前端部段違い調整

1. フェンダープロテクターを取り外す。[EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-13 ページ)を参照。
2. フェンダー内側より車体側ヒンジ取付ボルトを緩めた後、フロントドア後端を持ち上げながら調整する。

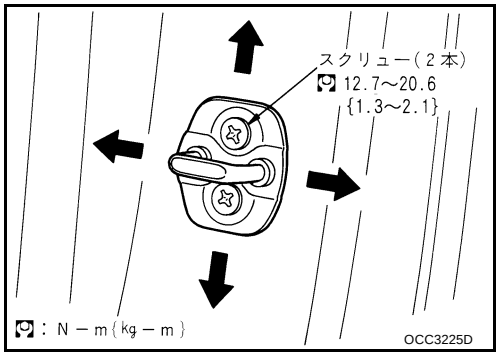
リヤドア

前後方向すき間及び前端部段違い調整

1. センターピラーアッパー及びロアガーニッシュを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-27 ページ)を参照。
2. 車両外側より取付ボルトを、車両内側より取付ナットを緩めた後、リヤドアを開き、リヤドア後端部を持ち上げながら調整する。

ストライカー調整

ストライカーはロック進入方向に対して平行となるように調整する。



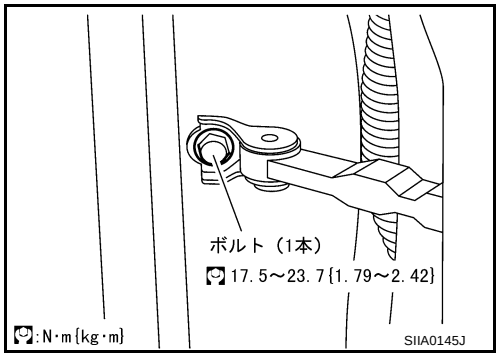
取り外し、取り付け

JIS0017C

注意：
- ドア ASSY 脱着時、ドア及び車体に傷をつけないようウエスを載せたジャッキなどでドアを支えながら作業すること。
- ドア ASSY 脱着時は建付調整を行うこと。
- ヒンジ回転部の給油状態を点検し、不足している場合は「ボディグリース」を塗布する。

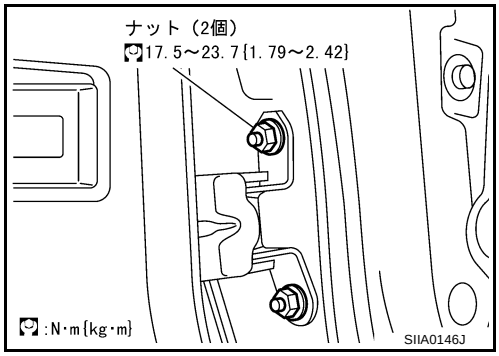
1. ドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-24 ページ)を参照
2. シーリングスクリーンを取り外す。

   参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。
3. ドアハーネスを取り外す。
4. チェックリンクの車体側取付ボルトを取り外す。



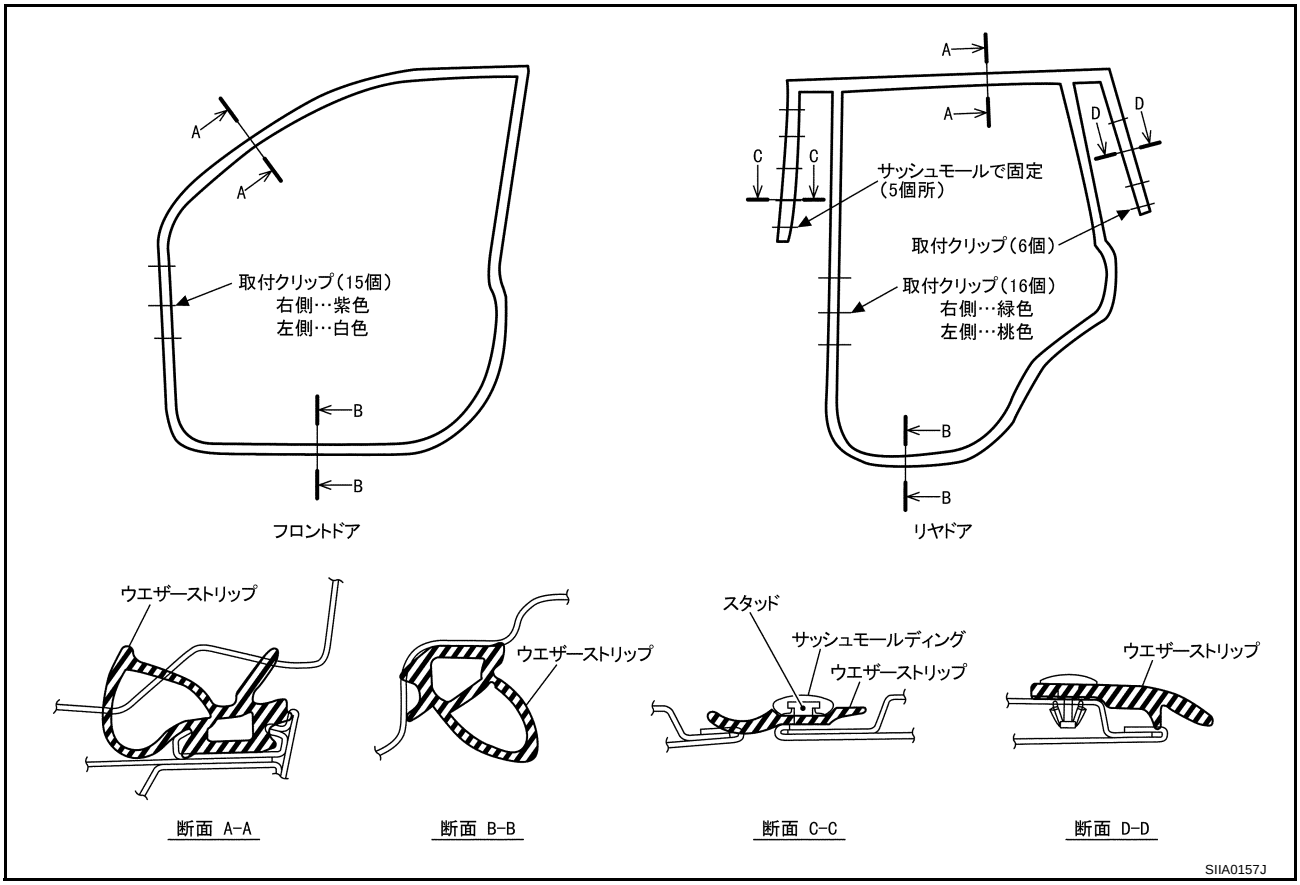
5. ドア側ヒンジ取付ナットを外し、ドア ASSY を取り外す。

   取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。



ドアウエザーストリップ

JIS0017D



集中ドアロックシステム

PFP:24814

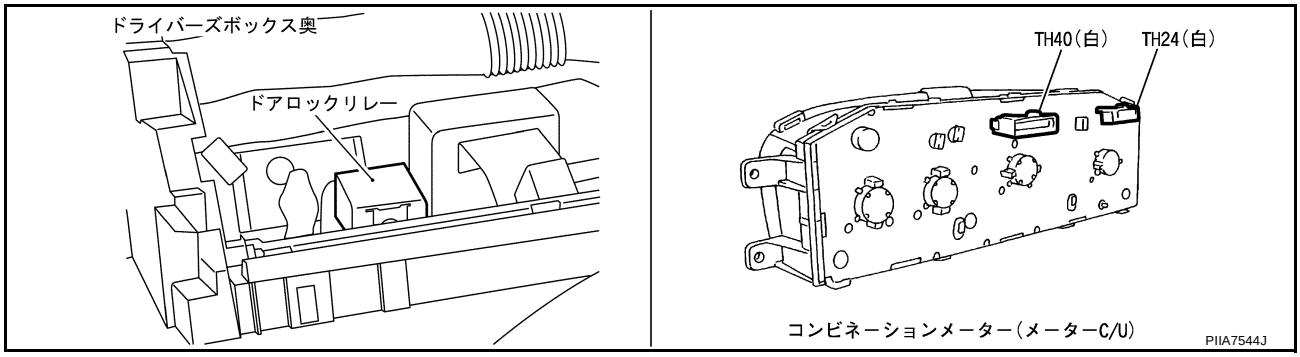
作動概要

JIS0017E

操作			運転席ドア	運転席以外のドア
運転席側	キーシリンダー	解錠（又は施錠）	←	←
	ドアロックノブ	解錠（又は施錠）	←	←
助手席	キーシリンダー	解錠（又は施錠）	連動せず	助手席のみ解錠（又は施錠）
助手席、後席	ドアロックノブ	解錠（又は施錠）	連動せず	自席のみ解錠（又は施錠）
集中ドアロック SW（アームレスト SW）		解錠	←	←
		施錠	連動せず	施錠

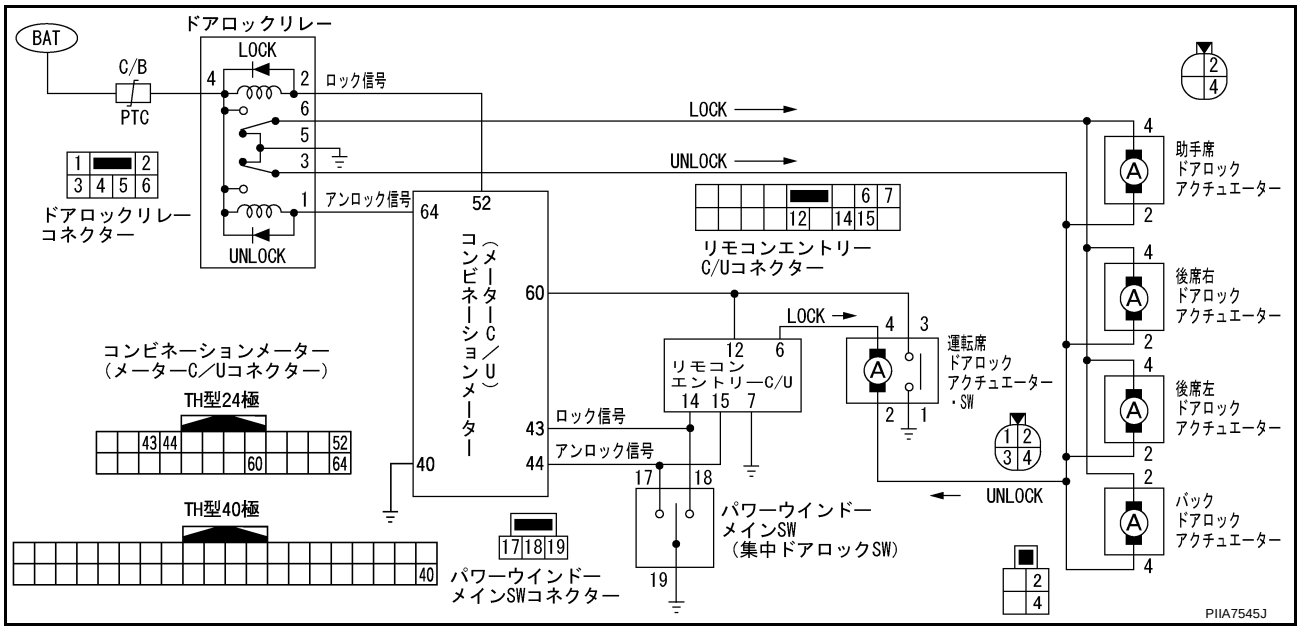
構成部品取付位置

JIS0017F



回路図

JIS0017G



コンビネーションメーター（メーターコントロールユニット）入出力信号基準値

JIS0017H

端子番号	信号名称	操作又は条件	基準値（V）
40	アース	－	約 0
43	集中ドアロック SW ロック信号	ロック操作時（ON）	約 0
		上記以外（OFF）	約 5
44	集中ドアロック SW アンロック信号	アンロック操作時（ON）	約 0
		上記以外（OFF）	約 5

端子番号	信号名称	操作又は条件	基準値（V）
52	助手席、後席左右ドアロックアクチュエーターロック信号	集中ドアロック SW ロック操作時	約 12 →約 0 →約 12 と変化する
60	運転席ドアロック SW 信号	アンロック時（ON）	約 0
		ロック時（OFF）	約 5
64	助手席、後席左右ドアロックアクチュエーターアンロック信号	集中ドアロック SW アンロック操作時	約 12 →約 0 →約 12 と変化する

現象別故障診断早見表

JIS0017I

現象	不具合系統
集中ドアロック SW 操作で全席ドアロック（運転席ドア除く）、アンロックが作動しない	パワーウインドーメイン SW 経路「パワーウインドーメインスイッチ経路点検」(BL-12 ページ)
	ドアロックリレー経路「ドアロックリレー経路点検」(BL-13 ページ)
集中ドアロック SW 操作で助手席、後席左右、いずれかのロック、アンロックが作動しない	ドアロックアクチュエーター経路「ドアロックアクチュエーター経路点検」(BL-14 ページ)
運転席ドアロックノブ操作で助手席、後席左右のロック、アンロックが作動しない（集中ドアロックの SW 操作では作動する）	運転席ドアロック SW 経路「運転席ドアロックアクチュエータースイッチ経路点検」(BL-15 ページ)

パワーウインドーメインスイッチ経路点検

JIS0017J

点検要領

1. パワーウインドーメイン SW（集中ドアロック SW）回路点検

パワーウインドーメイン SW 車両側コネクター 17、18 番端子～コンビネーションメーター（メーター C/U）車両側コネクター 43、44 番端子間のハーネス導通点検を行う。

メイン SW ～ コンビネーションメーター

17 番端子 ～ 44 番端子　　：導通あり

18 番端子 ～ 43 番端子　　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ 2 へ

NG　≫
- パワーウインドーメイン SW（集中ドアロック SW）～コンビネーションメーター（メーター C/U）間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. パワーウインドーメイン SW（集中ドアロック SW）アース回路点検

パワーウインドーメイン SW 車両側コネクター 19 番端子～ボディーアース間の導通点検を行う。

19 番端子～ボディーアース　　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ 3 へ

NG　≫
- アース回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

3. パワーウインドーメイン SW（集中ドアロック SW）内部回路点検

集中ドアロック SW を操作してパワーウインドーメイン SW 車両側コネクター 17、18 番端子～ 19 番端子間の導通点検を行う。

ドアアンロック操作時
17 番端子～ 19 番端子　：導通あり
ドアロック操作時
18 番端子～ 19 番端子　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ ドアロックリレー経路点検へ
NG　≫ パワーウインドーメイン SW（集中ドアロック SW）交換

ドアロックリレー経路点検

JIS0017K

点検要領

1. ドアロックリレー回路点検

ドアロックリレー車両側コネクター 1、2 番端子～コンビネーションメーター（メーター C/U）車両側コネクター 64、52 番端子間の車両側ハーネス導通点検を行う。

メイン SW ～ コンビネーションメーター
1 番端子 ～ 64 番端子　：導通あり
2 番端子 ～ 52 番端子　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ 2 へ
NG　≫
- ドアロックリレー～コンビネーションメーター（メーター C/U）間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. ドアロックリレー電源回路点検

ドアロックリレー車両側コネクター 4 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

4 番端子～ボディーアース　：約 12V

点検結果は OK か？

OK　≫ 3 へ
NG　≫
- 電源回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

3. ドアロックリレーアース回路点検

ドアロックリレー車両側コネクター 5 番端子～ボディーアース間の導通点検を行う。

5 番端子～ボディーアース　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ 4 へ
NG　≫
- アース回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

4. ドアロックアクチュエーター回路点検

ドアロックリレー車両側コネクター 3、6 番端子～ドアロックアクチュエーター車両側コネクター 2、4 番端子間のハーネス導通点検を行う。

ドアロックリレー ～ ドアロックアクチュエーター
3 番端子 ～ 2 番端子（4 番端子）　：導通あり
6 番端子 ～ 4 番端子（2 番端子）　：導通あり
（）：バックドアロック

点検結果は OK か？

OK　≫ 5 へ

NG　≫ • ドアロックリレー～ドアロックアクチュエーター間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
• コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

5. コンビネーションメーター（メーター C/U）入出力信号点検

集中ドアロック SW を操作してコンビネーションメーター（メーター C/U）52、64 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

ドアロック操作時
65 番端子～ボディーアース　：約 12 →約 0 →約 12 と変化する
ドアアンロック操作時
64 番端子～ボディーアース　：約 12 →約 0 →約 12 と変化する

点検結果は OK か？

OK　≫ ドアロックリレー交換

NG　≫ コンビネーションメーター（メーター C/U）交換

ドアロックアクチュエーター経路点検

JIS0017L

点検要領

1. ドアロックアクチュエーター電源回路点検

集中ドアロック SW を操作して、作動しないドアロックアクチュエーター車両側コネクター 2、4 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

ドアロック操作
2 番端子（4 番端子）～ボディーアース　：約 0 →約 12 →約 0 と変化する
ドアアンロック操作
4 番端子（2 番端子）～ボディーアース　：約 0 →約 12 →約 0 と変化する
（）：バックドアロック

点検結果は OK か？

OK　≫ ドアロックアクチュエーター交換

NG　≫ • ドアロックアクチュエーター～ドアロックリレー間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
• コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

運転席ドアロックアクチュエータースイッチ経路点検

JIS0017M

点検要領

1. 運転席ドアロック SW 回路点検

運転席ドアロック SW 車両側コネクター 3 番端子～コンビネーションメーター（メーター C/U）車両側コネクター 60 番端子間のハーネス導通点検を行う。

ドアロック SW ～ コンビネーションメーター
3 番端子 ～ 60 番端子　　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ 2 へ

NG　≫
- 運転席ドアロック SW ～コンビネーションメーター（メーター C/U）間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. 運転席ドアロック SW アース回路点検

運転席ドアロック SW 車両側コネクター 1 番端子～ボディーアース間の導通点検を行う。

1 番端子～ボディーアース　　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ 3 へ

NG　≫
- アース回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

3. 運転席ドアロック SW 点検

運転席ドアロックノブを操作して、ドアロック SW 側コネクター 1 番端子～ 3 番端子間の導通点検を行う。

ドアロック時（SW：OFF）
1 番端子～ 3 番端子　　：導通なし
ドアアンロック時（SW：ON）
1 番端子～ 3 番端子　　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ コンビネーションメーター（メーター C/U）交換

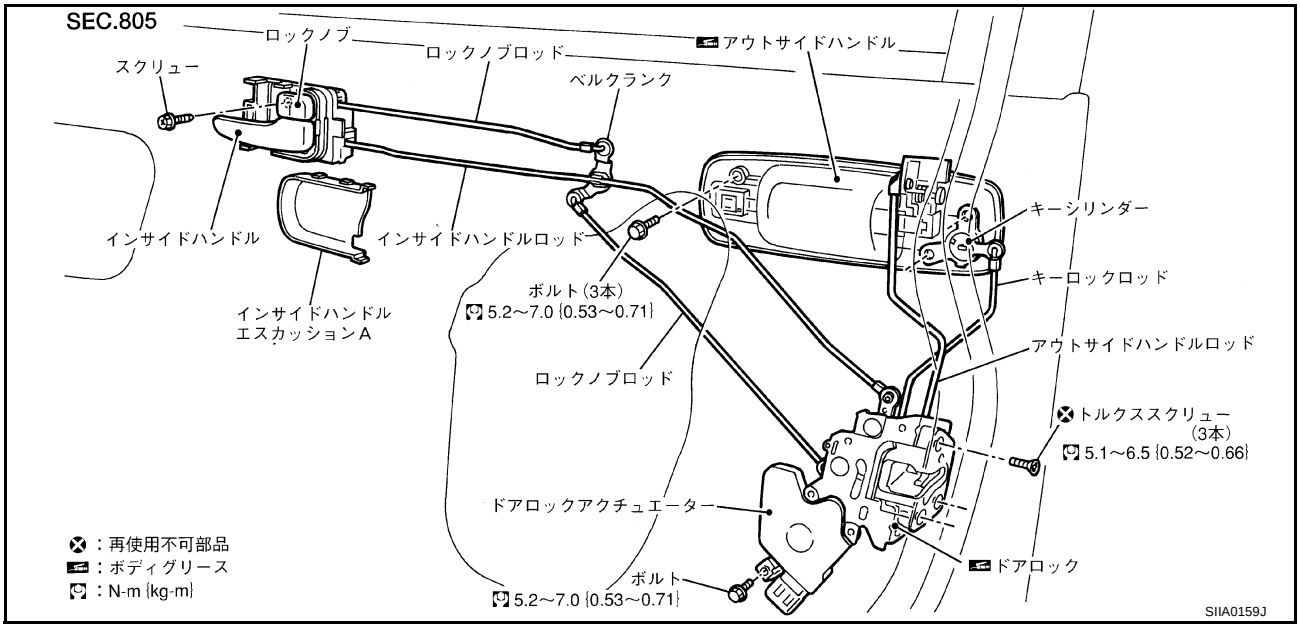
NG　≫ 運転席ドアロックアクチュエーター SW 交換

フロントドアロック

PFP:80502

構成図

JIS0017N



点検、調整

JIS0017O

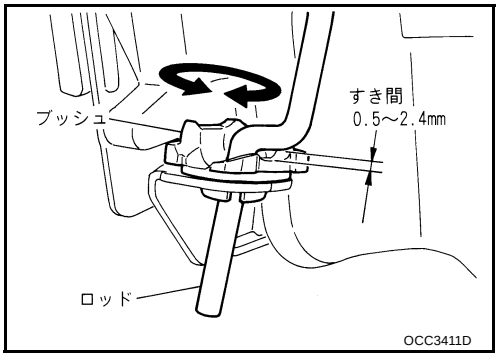
1. フロントドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-24 ページ) を参照。
2. シーリングスクリーンを取り外す。

   参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。

アウトサイドハンドルロッド調整

- ブッシュとロッドのすき間が図の状態になるようにブッシュを回転させ調整する。

注意：すき間が 0mm またはロッドが常に押されている状態にならないようにする。



取り外し、取り付け

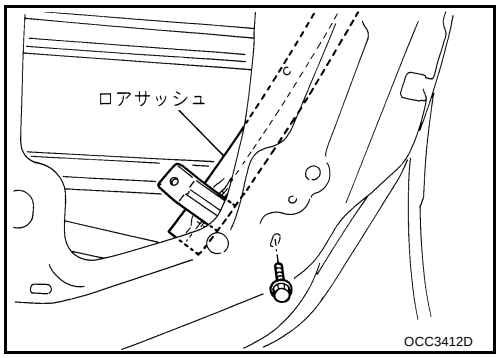
JIS0017P

取り外し

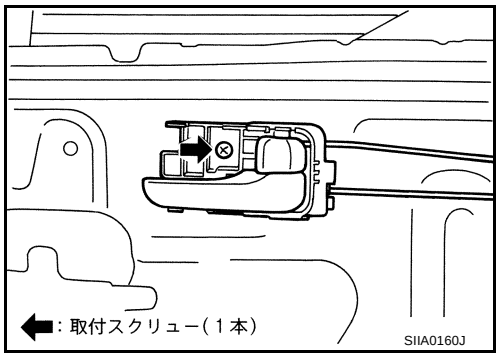
1. フロントドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-24 ページ) を参照。
2. シーリングスクリーンを取り外す。

   参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。
3. フロントドアガラスを取り外す。「GW ガラス・ウインドー・ミラー」の「取り外し、取り付け」(GW-29 ページ) を参照。

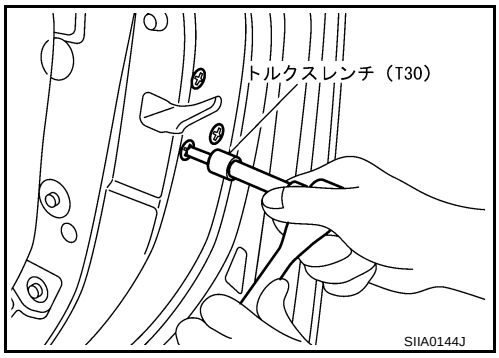
4. 取付ボルトを外し、ロアサッシュリヤの上部をサッシュより抜き、取り外す。
5. インサイドハンドルエスカッション A を外す。



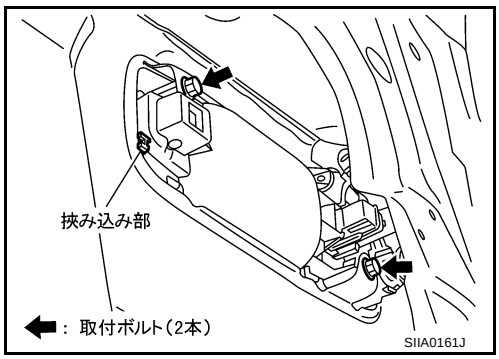
6. インサイドハンドル取付スクリューを外す。
7. ベルクランクのロックノブロッド連結部（2 箇所）を分離する。
8. インサイドハンドルロッド（ドアロック ASSY 側）を分離する。
9. インサイドハンドルを後方にスライドさせドアパネル穴より取り外す。
10. インサイドハンドルからロッドを取り外す。
11. 作業穴より手を入れ、キーロックロッド及びアウトサイドハンドルロッド連結部（ハンドル側）を分離する。



12. ドアロックアクチュエーターのコネクターを外す。
13. 取付スクリュー（トルクス T30）を外し、ドアロック ASSY を作業穴より取り外す。



14. アウトサイドハンドル取付ボルトを外し、後方にずらしアウトサイドハンドルエスカッション前側のパネルへの挟み込みを外しアウトサイドハンドル ASSY を取り外す。



取り付け

取り外しの逆の手順で行う。

注意：
- アウトサイドハンドル取付時、前方及び下方に押し当てながらボルトを締め付ける。
- ドアロック ASSY 取付時、車体側取付座面に「防せいワックス M-97 スーパー」を塗布する。
- 各ロッドはカチッと手ごたえがあるまでロッドホルダーを回転させて取り付ける。

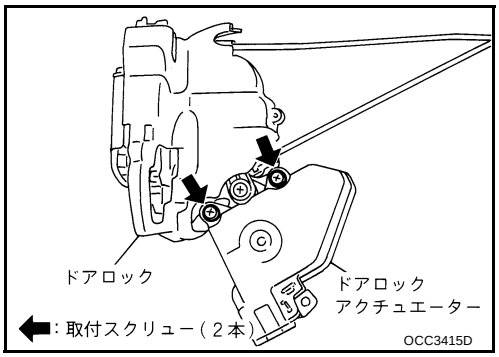
分解、組み立て

JIS0017Q

分解

注意： アクチュエーターの脱着はドアロック ASSY を車両から取り外して作業のこと。

1. 取付スクリューを外して、ドアロック ASSY よりアクチュエーターを取り外す。
2. アクチュエーターを真っ直ぐ下方向へ引き、ドアロック ASSY より分割する。



組み立て

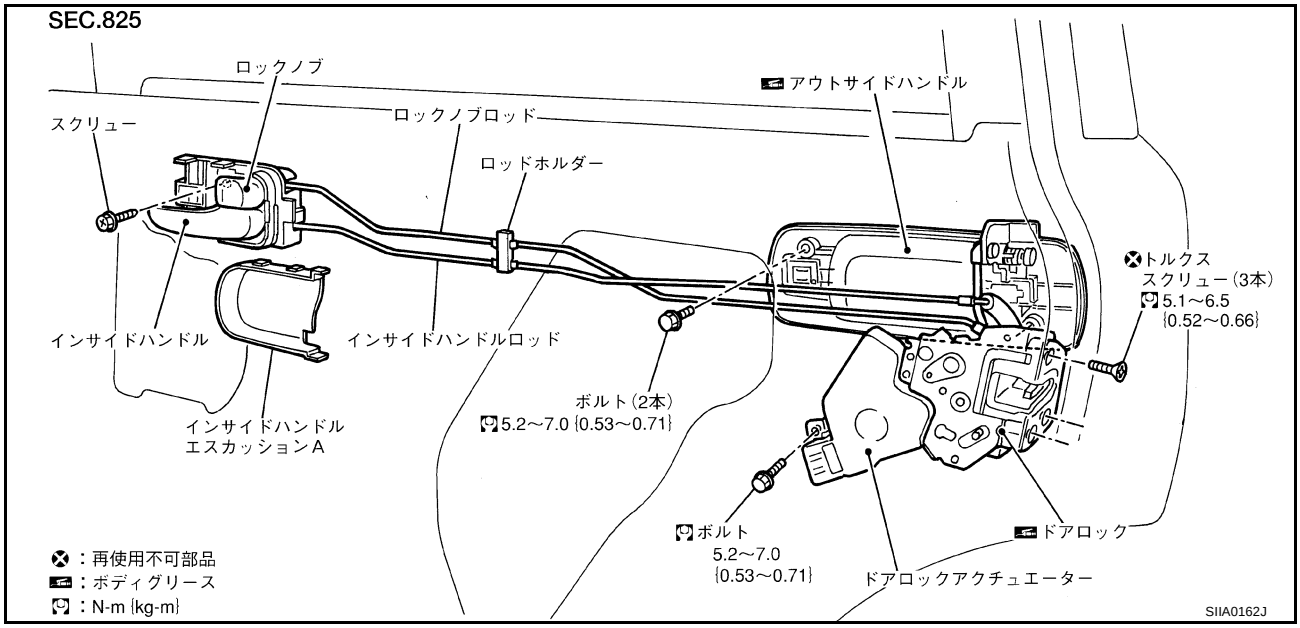
1. アクチュエーターのピボットをドアロック ASSY のノブレバーの切り欠きに合わせ組み付ける。
2. ノブレバー及びアクチュエーターのピボットをロックオン方向に操作し、確実にかん合していることを確認する。

リヤドアロック

PFP:82502

構成図

JIS0017R



点検、調整

JIS0017S

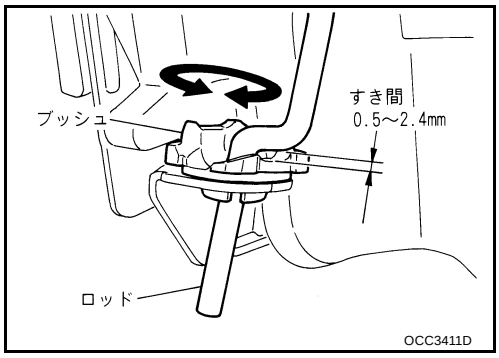
1. リヤドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装、内装」の「取り外し、取り付け」(EI-24 ページ) を参照。
2. シーリングスクリーンを取り外す。

参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。

アウトサイドハンドルロッド調整

ブッシュとロッドのすき間が図の状態になるようにブッシュを回転させ調整する。

注意：すき間が 0mm またはロッドが常に押されている状態にならないようにする。



取り外し、取り付け

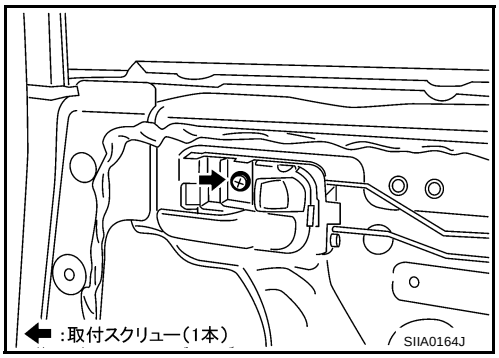
JIS0017T

取り外し

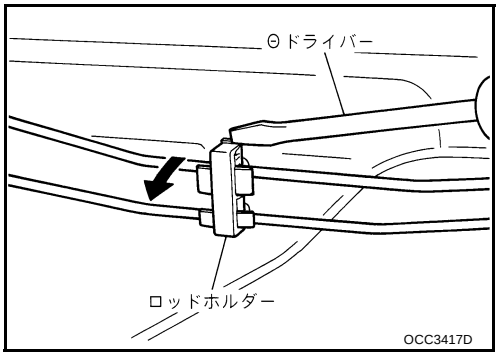
1. リヤドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-24 ページ) を参照。
2. シーリングスクリーンを取り外す。

   参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。
3. ロアサッシュリヤを取り外す。「GW ガラス・ウインドウ・ミラー」の「取り外し、取り付け」(GW-31 ページ) を参照。
4. リヤドアガラスを取り外す。「GW ガラス・ウインドウ・ミラーの「取り外し、取り付け」(GW-31 ページ) を参照。
5. インサイドハンドルエスカッション A を外す。

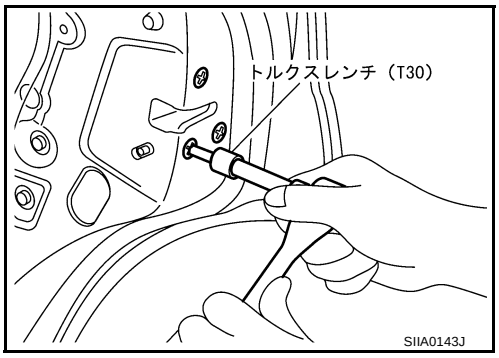
6. インサイドハンドル取付スクリューを外す。



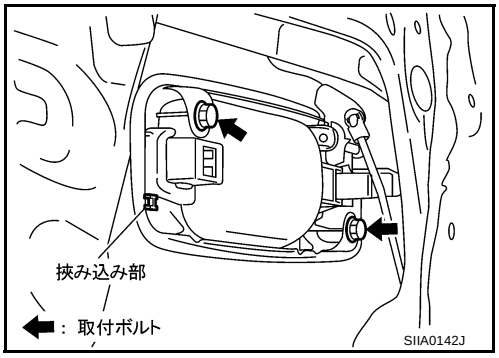
7. インサイドハンドルロッド（ドアロック ASSY 側）を分離する。
8. ロックノブロッド（ドアロック ASSY 側）を分離する。
9. ロッドホルダーをマイナスドライバー等で開きロッドを外す。
10. インサイドハンドルを後方にスライドさせドアパネル穴より取り外す。
11. インサイドハンドルからロッドを取り外す。
12. ドアロックアクチュエーターのコネクターを外す。



13. 取付スクリュー（トルクス T30）を外し、ドアロック ASSY を作業穴より取り外す。



14. アウトサイドハンドル取付ボルトを外し、後方にずらしアウトサイドハンドルエスカッション前側のパネルへの挟み込みを外しアウトサイドハンドルを取り外す。



取り付け

取り外しの逆の手順で行う。

注意：
- アウトサイドハンドル取付時、前方及び下方に押し当てながらボルトを締め付ける。
- ドアロック ASSY 取付時、車体側取付座面に「防せいワックス M-97 スーパー」を塗布する。
- 各ロッドはカチッと手ごたえがあるまでロッドホルダーを回転させて取り付ける。

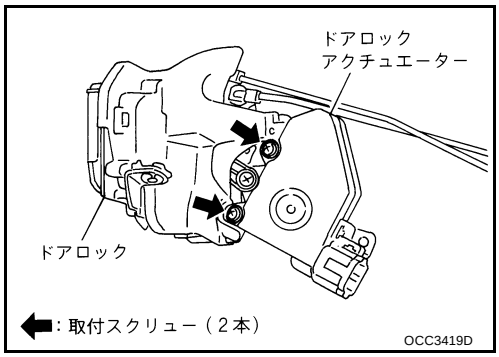
分解、組み立て

JIS0017U

分解

注意： アクチュエーターの脱着はドアロック ASSY を車両から取り外して作業のこと。

1. 取付スクリューを外して、ドアロック ASSY よりアクチュエーターを取り外す。
2. アクチュエーターを真っ直ぐ下方向へ引き、ドアロック ASSY より分割する。



組み立て

1. アクチュエーターのピボットをドアロック ASSY のノブレバーの切り欠きに合わせ組み付ける。
2. ノブレバー及びアクチュエーターのピボットをロックオン方向に操作し、確実にかん合していることを確認する。

リモートコントロールエントリーシステム

PFP:28596

システム概要

JIS0017V

- リモコン操作により、各ドアのロック、アンロック操作を可能とした。
- オートロック機能により、リモコンのアンロックスイッチを押して、30 秒以内に IGN キーシリンダーにキーが差し込まれない又は、いずれかのドアを開けなければ全ドアが自動的にロックされる。
- 作動確認機能により、リモコン操作時ターンシグナルランプランプを点滅させる。（ロック時：1 回、アンロック時：2 回）

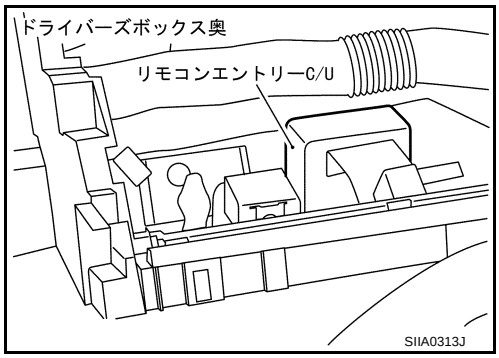
作動条件

ロック操作 : キー差し込み検出スイッチの OFF（キー抜き状態）且つ、全ドアスイッチ OFF（全ドア閉）

アンロック操作 : キー差し込み検出スイッチ OFF（キー抜き状態）

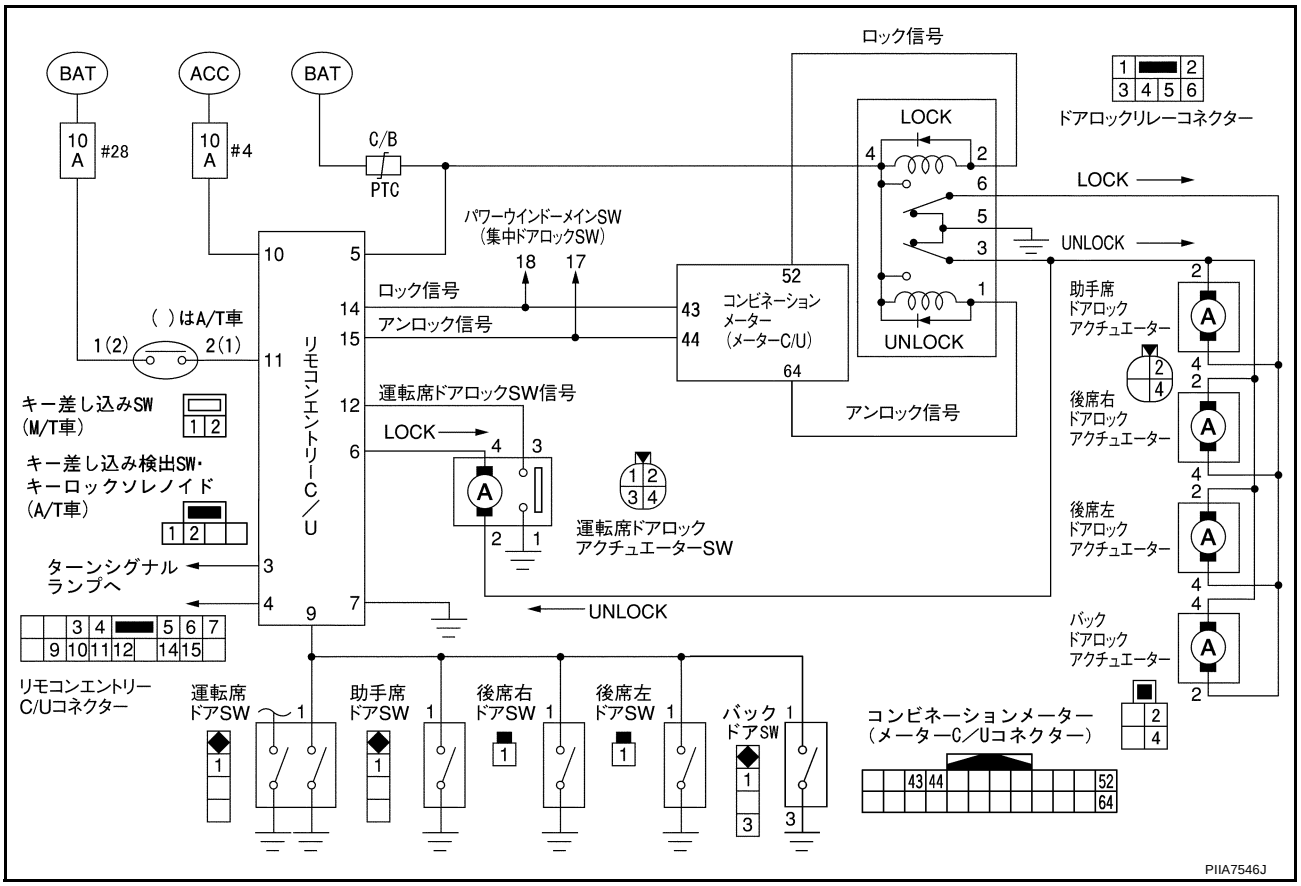
構成部品取付位置

JIS0017W



回路図

JIS0017X



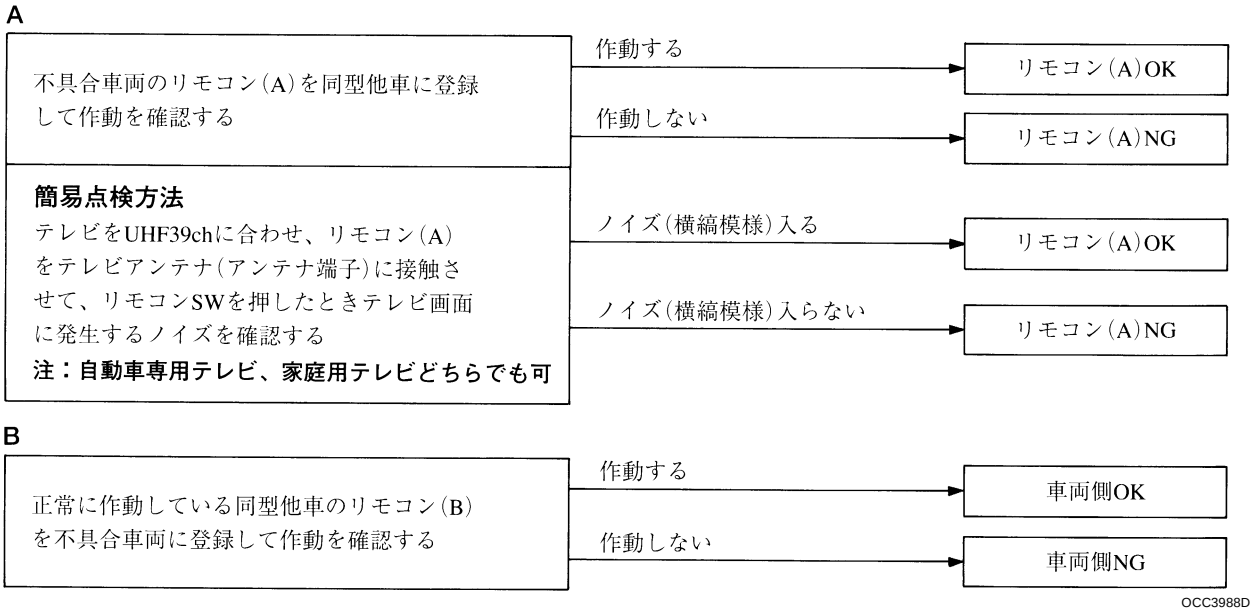
リモコンエントリーコントロールユニット入出力信号基準値

JIS0017Y

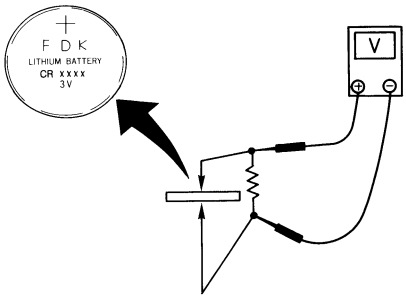
端子番号	信号名称	操作又は条件		基準値（V）
3	ターンシグナルランプ出力信号	リモコンのロック SW を押す		約 0→ 約 12→ 約 0 と変化する
		リモコンのアンロック SW を押す		約 0→ 約 12→ 約 0→ 約 12→ 約 0 と変化する
4	ターンシグナルランプ出力信号	リモコンのロック SW を押す		約 0→ 約 12→ 約 0 と変化する
		リモコンのアンロック SW を押す		約 0→ 約 12→ 約 0→ 約 12→ 約 0 と変化する
5	BAT 電源	ー		約 12
6	運転席ドアロックアクチュエーターロック出力信号	リモコンロック SW を操作する		約 0→ 約 12→ 約 0 と変化する
7	アース	ー		約 0
9	全席ドア SW 入力信号	全ドアを閉じる（OFF）		約 12
		各ドアいずれかを開く（ON）		約 0
10	ACC 電源	キー SW ACC		約 12
11	キー差し込み検出 SW 入力信号	キー	差す（ON）	約 12
			抜く（OFF）	約 0
12	運転席ドアロック SW 信号	ロック時（OFF）		約 5
		アンロック時（ON）		約 0
14	助手席、後席左右、バックドアロック出力信号	リモコンのロック SW を押す		約 5 →約 0 →約 5 と変化する
15	助手席、後席左右、バックドアアンロック出力信号	リモコンのアンロック SW を押す		約 5 →約 0 →約 5 と変化する

診断前点検

JIS0017Z



作動点検		点検項目
システム点検 A	システム点検 B	
リモコン（A）OK	車両側 OK	不具合車両にリモコン（A）を再度登録し、作動を確認する。

作動点検		点検項目
システム点検 A	システム点検 B	
リモコン（A） OK	車両側 NG	故障診断で車両の不具合箇所を探究する。
リモコン（A） NG	車両側 OK	リモコン（A）の電池電圧点検を行う。 点検値：約 2.5 ～ 3.0 V 注意：注意：電流値が 10mA 相当となる抵抗（約 300Ω 程度）を つなげて点検する。 交換用電池 コイン型リチウム電池 （CR1620）相当品 

現象別故障診断早見表

JIS00180

- 下記の故障診断を始める前にリモコン診断前点検を行うこと。
- 下記系統の信号を使用している他のシステムが正常に作動するか点検する。

現象	不具合系統
リモコン操作で全ドアがロック作動しない （集中ドアロック作動は正常）	ドア SW 経路「ドアスイッチ経路点検」(BL-25 ページ) キー差し込み検出 SW 経路「キー差し込み検出スイッチ経路点検」(BL-25 ページ)
リモコン操作で全ドアがアンロック作動しない （集中ドアロック作動は正常）	キー差し込み検出 SW 経路「キー差し込み検出スイッチ経路点検」(BL-25 ページ)
リモコン操作で運転席ドアロックは作動するが、助手席、後席左右ドアロック、アンロック作動及び運転席ドアアンロック作動がしない	集中ドアロックシステムを行う。 「集中ドアロックシステム」(BL-11 ページ) を参照。
リモコン操作で運転席ドアロック作動しない	運転席ドアロックアクチュエーター系統「運転席ドアロックアクチュエーター経路点検」(BL-26 ページ)
リモコン操作でドアロック、アンロック作動はするがターンシグナルランプが点滅しない （ターンシグナルランプシステムは正常作動）	ターンシグナルランプ経路「ターンシグナルランプ経路点検」(BL-27 ページ)
リモコン操作でドアロック、アンロック作動はするがターンシグナルランプがドアロック又はアンロック作動のどちらか片方が点滅しない （ターンシグナルランプシステムは正常作動）	リモコンエントリー C/U 不良

ドアスイッチ経路点検

JIS00181

点検要領

1. 各席ドア SW 回路点検

各席ドア SW 車両側コネクター 1 番端子～リモコンエントリー C/U 車両側コネクター 9 番端子間のハーネス導通点検を行う。

ドア SW ～ リモコンエントリー C/U
1 番端子 ～ 9 番端子　　：導通あり

点検結果は OK か？

OK　≫ 2 へ

NG　≫
- ドア SW ～リモコンエントリー C/U 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. 全席ドア SW 入出力信号点検

1. 全席ドアを閉じる。
2. 運転席、助手席、後席左右それぞれのドアを開け、リモコンエントリー C/U 9 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

いずれかのドアを開ける
9 番端子～ボディーアース　　：約 0V

全ドア閉じる
9 番端子～ボディーアース　　：約 12V

点検結果は OK か？

OK　≫ キー差し込み検出 SW 経路点検へ

NG　≫ 該当するドア SW 交換

キー差し込み検出スイッチ経路点検

JIS00182

点検要領

1. キー差し込み検出 SW 電源回路点検

キー差し込み検出 SW 車両側コネクター 2 (1) 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

2 (1) 番端子 ～ ボディーアース　　：約 12V
( )：A/T 車

点検結果は OK か？

OK　≫ 2 へ

NG　≫
- 電源回路ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. キー差し込み検出 SW 回路点検

キー差し込み検出 SW 車両側コネクター 1 （2）番端子～リモコンエントリー C/U 車両側コネクター 11 番端子間のハーネス導通点検を行う。

検出 SW ～リモコンエントリー C/U
1 （2）番端子 ～ 11 番端子 ：導通あり
( )：A/T 車

点検結果は OK か？

OK ≫ 3 へ

NG ≫
- キー差し込み検出 SW ～リモコンエントリー C/U 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

3. リモコンエントリー C/U 入出力信号点検

IGN キーシリンダーにキーを差し込みリモコンエントリー C/U 11 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

キー差し込み時
11 番端子～ボディーアース ：約 12V
キー抜き時
11 番端子～ボディーアース ：約 0V

点検結果は OK か？

OK ≫ リモコンエントリー C/U 交換

NG ≫ キー差し込み検出 SW 交換

運転席ドアロックアクチュエーター経路点検

JIS00183

点検要領

1. 運転席ドアロックアクチュエーター回路点検

運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクター 4 番端子～リモコンエントリー C/U 車両側コネクター 6 番端子間のハーネス導通点検を行う。

ドアロックアクチュエーター ～ リモコンエントリー C/U
4 番端子 ～ 6 番端子 ：導通あり

点検結果は OK か？

OK ≫ 2 へ

NG ≫
- 運転席ドアロックアクチュエーター～リモコンエントリー C/U 間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

2. 運転席ドアロックアクチュエーター点検

リモコンを操作して運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクター2、4番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

リモコンドアロック操作時
4番端子～ボディーアース　：約0V →約12V →約0Vと変化する
リモコンドアアンロック操作時
2番端子～ボディーアース　：約0V →約12V →約0Vと変化する

点検結果はOKか？
OK　≫ 運転席ドアロックアクチュエーター交換
NG　≫ リモコンエントリーC/U交換

ターンシグナルランプ経路点検

JIS00184

点検要領

1. リモコンエントリーC/U入出力信号点検

リモコンを操作してリモコンエントリーC/U 3、4番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

リモコンドアロック操作
3番端子～ボディーアース　：約0V →約12V →約0Vと変化する
4番端子～ボディーアース　：約0V →約12V →約0Vと変化する
リモコンドアアンロック操作
3番端子～ボディーアース　：約0V →約12V →約0V →約12V →約0Vと変化する
4番端子～ボディーアース　：約0V →約12V →約0V →約12V →約0Vと変化する

点検結果はOKか？
OK　≫
- ターンシグナルランプ～リモコンエントリーC/U間ハーネスの断線、ショートが無いか点検する。
- コネクターハウジングからの端子抜け、ゆるみ等を点検する。

NG　≫ リモコンエントリーC/U交換

リモコン暗証番号の登録

JIS00185

登録するリモコンをリモコン作動範囲に持ち込み、次の操作により登録する。

BF-1232D

参考：
- **メモリー内の全ての古い暗証番号を消去するには、1 つの新しい暗証番号（1 つのリモコン）を 4 回登録する。古い暗証番号が全て消去された後、残りのリモコンの暗証番号を登録する。**
- **リモコンを追加登録すると、メモリー内に既に 4 つの暗証番号が登録されている場合、古い暗証番号から消去される。4 つ以下の場合は、そのまま登録される。**
- **2 つ以上のリモコンを登録するには、暗証番号追加登録の手順を各々のリモコンに対して繰り返す。**
- **最大 4 つの暗証番号を登録できる。**

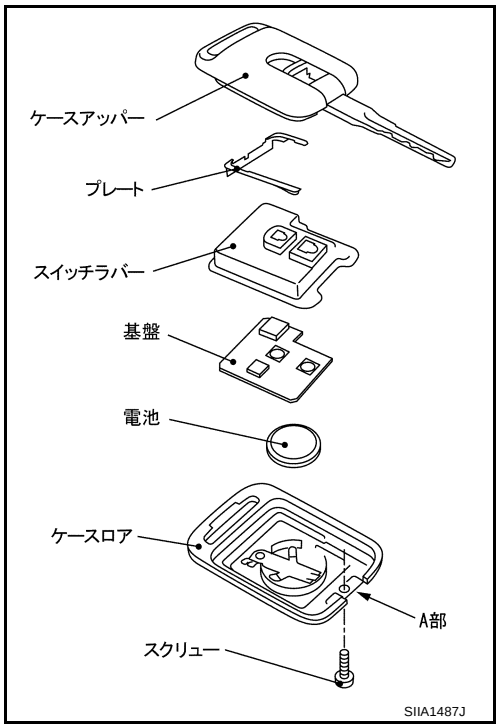
キー一体型リモコン分解、組み立て

JIS00186

1. リモコンキー裏の取付スクリューを外す。
2. ケースロアを上側にし、テープを巻いたマイナスドライバー等をケースロア A 部に差し込み、ケースアッパー、ロアを分離する。
3. 基盤 ASSY を交換する場合。
   - ケースアッパーに組み込まれている基盤 ASSY を取り外す。
     （基盤 ASSY：基盤＋スイッチラバー）
     注意： 基盤面に直接触れないようにすること。
4. 電池を交換する場合。
   - ケースロアから電池を取り外し交換する。

   交換用電池　　：コイン型リチウム電池（CR1620）

   注意： 電池を交換するときは、電極接点にゴミや油脂等の異物を付着させないように注意すること。
5. 交換後、スイッチラバーなどの挟み込みに注意しながらケースアッパー及びロアをかん合させ、スクリューで締め付ける。
   注意： 電池交換後、リモコン操作で正常にドアロックが作動するか必ず確認すること。

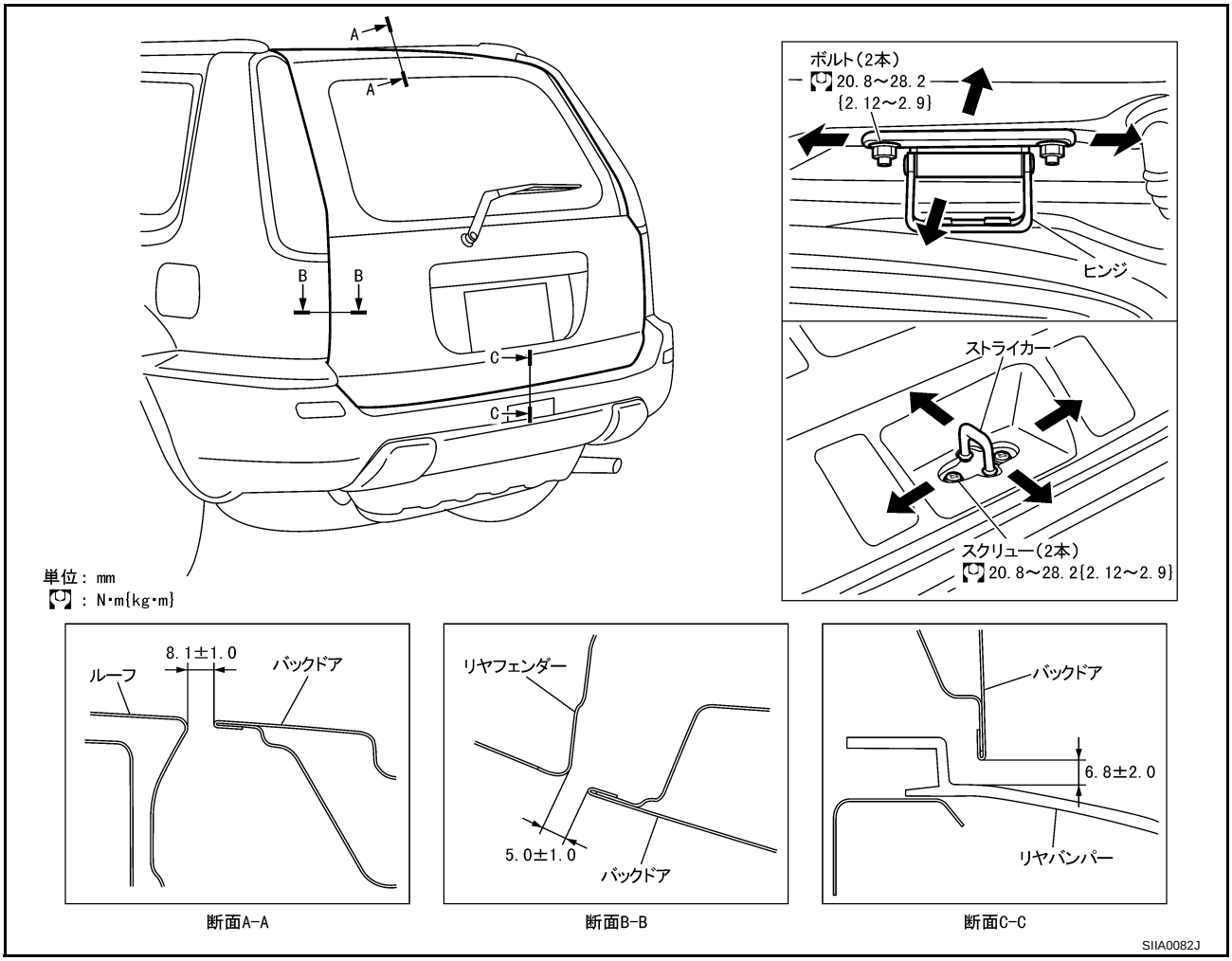


バックドア

PFP:90100

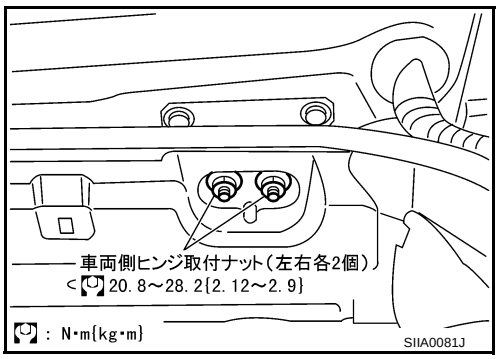
建付調整

JIS00187



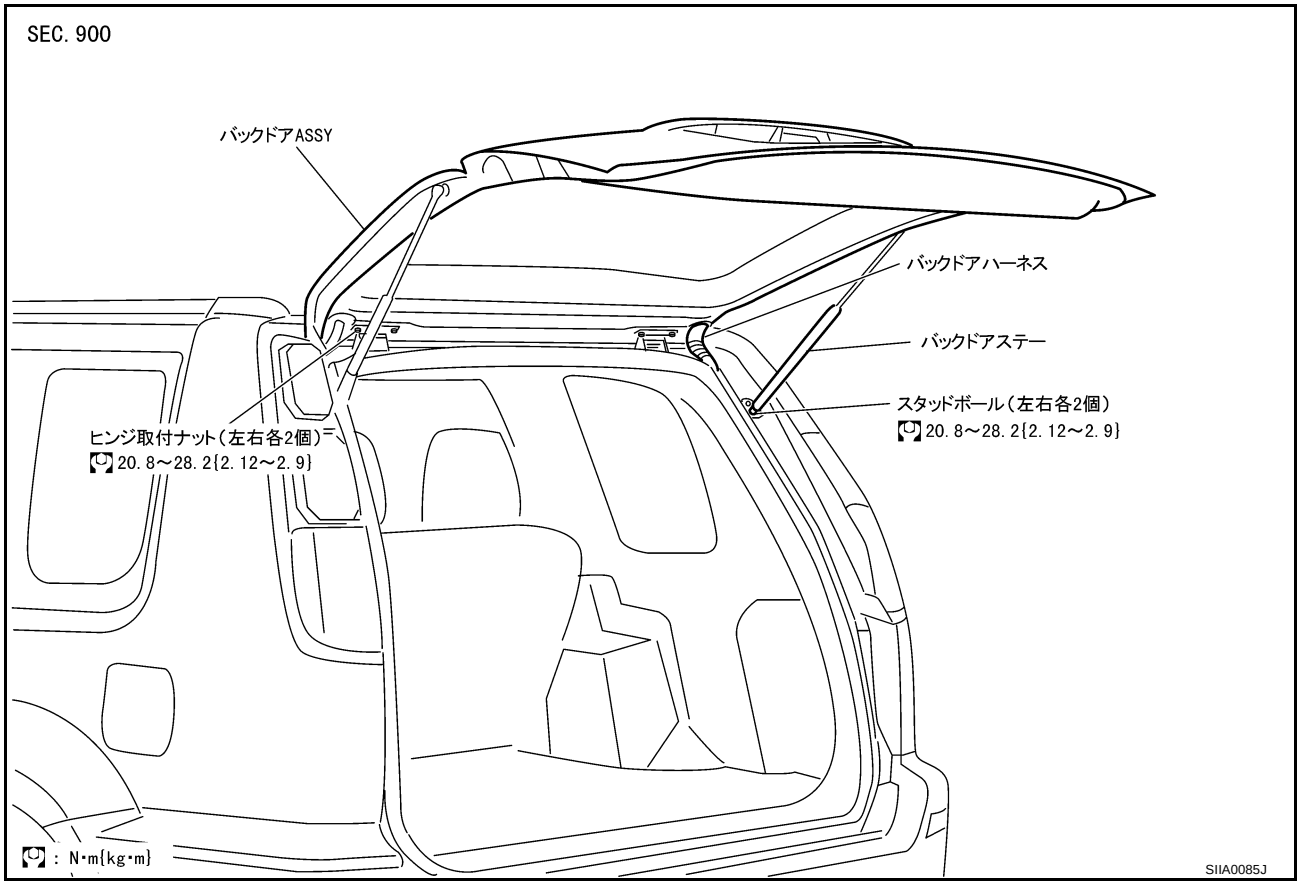
上下、左右方向すき間（面差）調整

1. **ストライカーを外した状態でバックドアヒンジのドア側取付ナットを緩め、バックドアを閉じる。**
2. **左右のすき間及びリヤバンパーとのすき間を一定にした後、バックドアを開け、取付ナットを規定トルクで締め付ける。**
3. **上記の作業で調整できない場合は、ヘッドライニングを外して、車体側ヒンジ取付ナットを緩めて調整する。**



バックドア ASSY

JIS00188



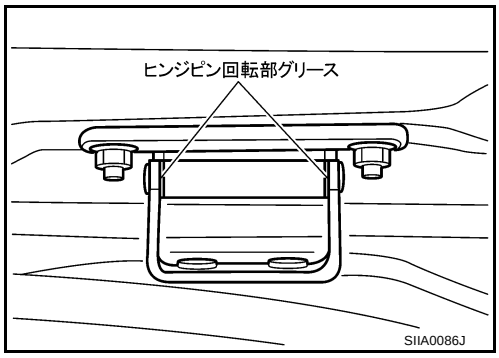
取り外し、取り付け

1. **バックドア内の各コネクターを分離及びハーネスのクランプを外しバックドアからハーネスを引き抜く。**
2. **バックドアロック部に支持材等を当て、落下防止を行った後、バックドアステー（ガスステー）を外す。**
3. **バックドア側ヒンジ取付ナットを外しバックドア ASSY を取り外す。**

   注意：・ バックドアとヒンジの合わせ部に防せいワックス「M–97 スーパー」を塗布する。

点検

1. **ヒンジの以下の項目を点検する。**
   - **異音又は開閉の重さ**
   - **構成部品の摩耗、損傷**
2. **ヒンジ回転部は「ボディグリース」を塗布する。**

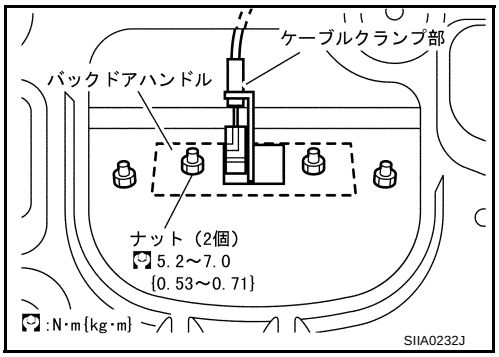


バックドアハンドルの取り外し、取り付け

JIS00189

1. ライセンスプレートフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-23 ページ) を参照。
2. バックドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-26 ページ) を参照。
3. ケーブルクランプを取り外しハンドルからケーブルを切り離す。
4. 取付ナットを外しハンドルを取り外す。

取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

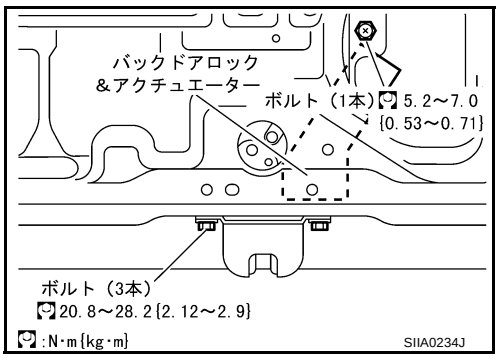


バックドアロック & アクチュエーターの取り外し、取り付け

JIS0018A

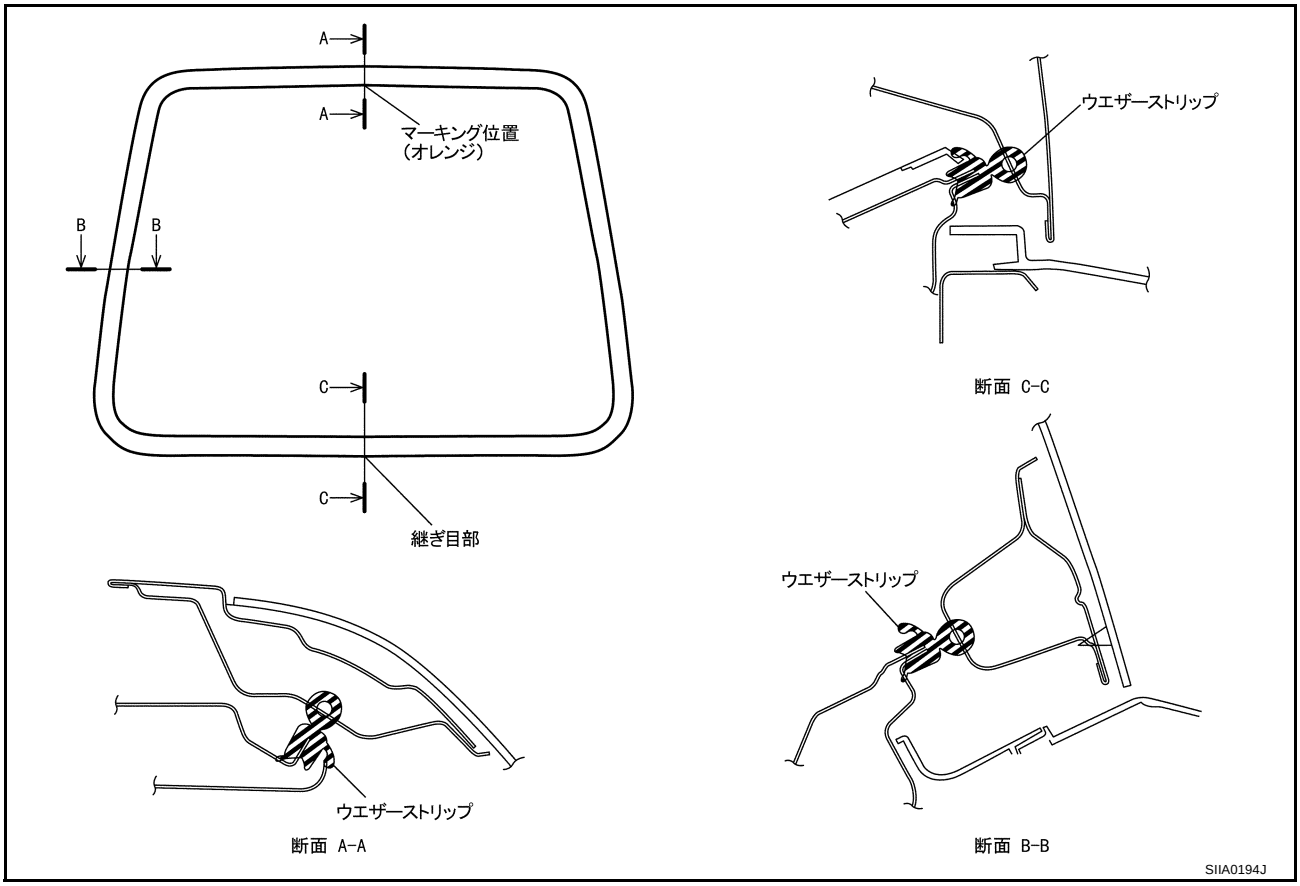
1. バックドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「取り外し、取り付け」(EI-26 ページ) を参照。
2. アクチュエーターのコネクターを取り外す。
3. バックドアロック部及びアクチュエーター部のボルトを外し、バックドアロック & アクチュエーターを取り外す。

取り付けは取り外しの逆の手順で行う。



バックドアウエザーストリップの取り外し、取り付け

JIS0018B

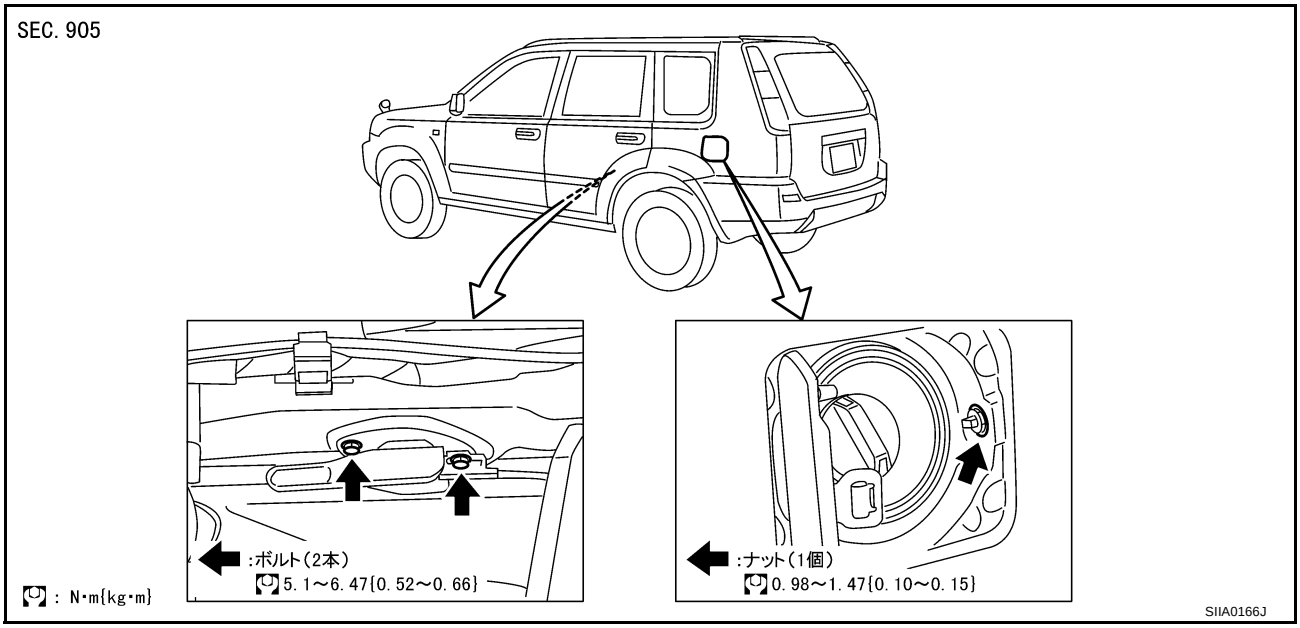


1. 上側より車両中心ポジマークにウエザーストリップマーキングを合わせ取り付ける。
2. 下側はストライカー中心にウエザーストリップ継ぎ目部を合わせる。

3. **取付後、ウエザーストリップを軽く引っ張って浮きのないことを確認する。**
   注意：各コーナー部及びバックドアリヤプレート部は確実に密着させること。

フューエルフィラーリッドオープナー

PFP:78820

構成部品取付位置

JIS0018C